

コラム

安倍首相の「女性活躍」はまやかしだ

金融労連「2013年女性の集いに参加して

池田泉州銀行従組 岡野展子

女性が働き続ける上での問題は

10月5日～6日、京都市で、金融労連2013年『女性のつどい』が開催され、入行1年目から定年まで幅広い年齢層で44名が参加。それぞれが意義深い時間を共有することができました。

「女性が働き続けられるために」、滋賀県医労連委員長・滋賀県労連副議長の宮武真知子さんの講演では、38年間看護師を続け、現在も厳しい医療現場で日々活躍されている現役だからこそ響いてくる、働き続けるためのたたかひの歴史や女性ならではの活動の取り組みが話されました。

日赤病院は、以前全寮制で結婚の自由が無く、定年が無いため自分たちの老人ホームも院内にあった等、信じられない人権問題とのたたかひで「通勤・結婚」の自由を勝ち取ってきたこと。過酷な夜勤に疲れ果て「やっと帰ってきました、ねむすぎる…」とメールを残してそのまま亡くなってしまった24歳の看護師さんや「白衣の銀座パレード」はテレビ・雑誌・マスコミ報道でも取り上げられ社会問題として注目されました。現在は診療報酬の確保のため、儲け優先で看護師の争奪戦が行なわれ、人件費削減で看護師への医療権限委譲等々、過酷な現場の労働実態を訴え様々な運動に取り組んでいます。母性保護については、少子高齢化の中、子どもは社会全体で育てるという姿勢に立って男女共に働き方を考えることの重要性が話されました。長時間労働のリスクとして、女性は「乳ガン」男性は「前立腺ガン」の発症が大きく高いことに言及されました。

分散会では、各職場の問題や女性が働き続ける上での問題点などが熱心に話し合われました。「職場の中間層が薄く、経験の少ない若年層を早く役職に就かせるために仕事が捌けない、コミュニケーションどころか仕事に追われて一杯一杯で職場が荒廃している」「女性の若手に役職ではない検印代行をさせ都合良く人件費削減」「人員不足で有給は取れない、制度休暇を消化するだけがやっと」「役職・管理職のみに委譲された仕事が増え、長時間労働で心身共に疲弊している。それで本当にチェック機能が果たせるのか」「女性は一般職でも総合職でも働き続けるのが困難。年齢によって居場所が無くなる不安」「学生時代は男女平等だったのに就職、仕事は差別される」「役職に就いても今のような長時間労働では結婚、出産、子育ては無理」等々の問題が発言されました。

交流会は京都町家風の「京都九条葱・葱屋平吉ゆるり屋」を貸切り、美味しい葱料理や鍋などをしっかり食べながら、にぎやかに交流を深めました。

安倍首相の「女性活躍」はまやかし

安倍首相は「女性の活躍は成長戦略の中核をなす」と語っていますが、「女性の活躍」を言うのであれば、「間接差別」の是正を含め、均等法の実行ある改正に取り組むべきです。それどころか、仕事内容や勤務地を限定することで解雇し易くする「限定正社員」や際限なく残業させることができる裁量労働時間制の拡大などの労働時間規制を緩和することを狙っています。労働者派遣法の改悪は派遣期間等の制限を無くして、長期にわたって必要な雇用でも派遣に置き換え、いつでも使い捨てできるよう経済界に都合の良い施策ばかりです。「多様な働き方」と言われますが、聞こえは良さそうですが、「雇用の劣化」につながる大問題を孕んでいます。男女共に共通の問題として捉えていくことが重要です。（池田泉州銀行従組委員長）